

## 生物資源産業学部

### ■生物資源産業学科

生物資源産業学部では、バイオテクノロジーを応用した生物資源の生産、医薬、食品としての有効利用に関連する幅広い知識、国際的に通用する専門性、バイオ産業創出に必要な起業マインドをもった人材の育成を目的としています。そのため、生物資源産業学部では、次のような人物を求めています。

#### ●求める人物像

関心・意欲・態度

バイオテクノロジー、生命、医療、食料、農業、環境に強い関心と学びに対する意欲があり、自分で明確な目標をもっている人

探 究 力

自分が関心をもったことを深く掘り下げようとする人

表 現 力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき\*理科系・文科系にわたる知識・教養をもつ人

思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

協 働 性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科—「化学、化学基礎」「生物、生物基礎」「物理、物理基礎」から2科目以上に渡る内容の理解と、自然環境で起こっている現象やその問題解決に必要な知識・教養。特に、入学後の学修に備えるため、化学に関する科目は実験データの解析力などを踏まえて、着実な修得をはかること。

数 学—「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」における内容の理解と応用力

英 語—国際的な専門分野を学ぶために必要な読解力と基礎的な運用能力

国 語—様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

地歴・公民—地歴・公民における基礎的内容の理解

#### ●入学者選抜の基本方針

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験ではこれらに加えて「表現力」「関心・意欲・態度」「探究力」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

一般入試（後期日程）

大学入試センター試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験ではこれらに加えて「探究力」「表現力」を評価します。より深い知識とともに、思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）＜地方創生型＞

個別試験で「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を重点的に評価し、「探究力」「思考力・判断力」「知識・教養」を合わせて総合的に評価します。地方創生型入試は、各地域の産業界と結びつきの強い専門教育を行っている学科を対象とし、地方創生に意欲をもつ学生の受入を目的としています（地域枠あり）。大学入試センター試験は課さず、個別試験のみで選抜します。

推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）＜主体性・表現力重視型＞

3教科の大学入試センター試験でより深い「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を重点的に評価し、「探究力」「思考力・判断力」を合わせて評価します。高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
総合問題	一般 (前期) 一般 (後期)	日本語で書かれた文章や図表等により、下記の力を問う記述・論述式の出題を行う。 ①化学 (化基・化) に関する基礎学力と思考・判断力 (実験データの解析力等を問う場合あり) ②現代の社会における諸問題 (バイオテクノロジー, 食料, 農業等で抱える問題) や生物資源産業への深い関心と, 自らの考えを表現する力 ※②は小論文の要素を含めた出題
集団討論	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の評価担当者による集団討論を行う。試験室で, テーマの提示 (バイオテクノロジー, 食料, 農業関連)・説明ののち, 15分間で自分の考察のまとめ (所定用紙の記述と提出有) を行う。考察のまとめの後に, 集団討論を行う (終了5分前よりまとめに関する記述と提出有)。討論の進行役は評価担当者が行う。
集団面接	一般 (前期) 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による集団面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行い, 提出書類等の確認を行う場合がある。 ※一般入試 (前期) は, 2日間に渡って選抜 (1日目・総合問題, 2日目・集団面接) を実施し, 集団面接は1日目の受験者数によって, 集合時刻を午前と午後に分けて実施する場合がある (1日目終了時に詳細を連絡)。
個人面接 (口頭試問含む)	推薦Ⅰ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて個人面接を行い, 地方創生に関する質問や提出書類等の確認を行う場合がある。また, 高校の基礎学力 (「化学基礎」等) を確認するため, 口頭試問を行う。
調査書*	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	高等学校での生活状況 (特別活動・指導上の参考となる諸事項等) を重点的に評価し, 学習の記録を参考とする。なお, 資格・検定試験の成績等のほか, プロジェクト活動やボランティア活動の実績, 海外留学等の多様な経験がある場合は, 集団面接と個人面接 (口頭試問含む) においても参考資料とするため, 具体的に記入しておくこと。
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動 (部活動, 生徒会活動, プロジェクト活動, ボランティア活動, 海外留学などの学校内外で行った活動)」を評価する。また, 推薦Ⅰにおいては, 「意欲的に取り組んだ活動」に農業, 工業, 商業, 水産に関する学科又は総合学科特有の活動実績を含めて評価し, 「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※提出書類等の詳細は, 「『活動報告書』作成要領」を137~139ページに掲載しているため, 必ず確認すること。
学びの設計書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	大学・社会人までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野の理由を含めて, 300字~400字で簡潔に作成して提出する。学びの設計書は必ず受験者自筆で作成する。

●入学者選抜方法における重点評価項目 [入学者選抜方法と求める人物像との関係性]

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
(センター試験)	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ				○	○	
総合問題	一般 (前期) 一般 (後期)		○	○	○	○	
集団討論	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ			○		○	○
集団面接	一般 (前期) 推薦Ⅱ	○		○			
個人面接 (口頭試問含む)	推薦Ⅰ	○			○		
調査書*	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○					○
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○					○
学びの設計書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ		○	○			

\*一般入試 (前期), 一般入試 (後期) においては調査書を参考とする。